

# 第39回総合的交通基盤整備連絡会議開催概要

各地方公共団体における総合交通関連施策の推進支援を目的に開催。当日は全国より133の地方公共団体が参加。

- 開催日：平成30年8月7日（火） 13:00～17:00
- 場所：国土交通省 中央合同庁舎2号館（東京都千代田区）
- テーマ：地方における人口減少、高齢社会に対応した移動手段確保にかかる取組
- 次第

- (1) 開会
- (2) 主催者挨拶
- (3) 基調講演

①名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 加藤 博和 氏  
「人口減少・超高齢化をのりこえる力強い地域公共交通づくり」

- (4) 地方自治体からの事例紹介

①福岡県小郡市 環境経済部 部長 今井 知史 氏  
「自治会バス『ベレッサ号』の取り組みについて」

②岩手県北上市 都市整備部 都市計画課 課長補佐 高橋 正貴 氏  
「北上まちなかバスターミナル～まちなか経路の統一とまちなかターミナル整備～」

- (5) 交通事業者からの事例紹介

①PORTO株式会社 代表取締役社長 森戸 裕一 氏  
「佐賀県伊万里市黒川町×PORTO株式会社 2018年度実証事業  
～乗って楽しいエンタメコミュニティバスで人を呼び込むまちづくり～」

- (6) 国土交通省からの情報提供
- (7) 加藤教授からの総評
- (8) 閉会

## ○総評（加藤教授）

- ・ コミュニティバスや公共交通を使ったライフスタイルを提案するには、マーケティング的な発想が必要である。
- ・ みんなが利用したくなる持続可能な公共交通を住民・自治体・事業者が一体となって育てることが重要である。



名古屋大学大学院  
加藤教授



小郡市  
今井部長



北上市  
高橋課長補佐



PORTO株式会社  
森戸代表取締役社長